



東京学芸大学 障がい学生支援室

充実した情報保障を提供するためには？

やってみたいけど、私にも支援できるかな...



- 手話練習会**・・・毎週火曜日2限に聴覚障害のある方と交流し、テイクに直接使える手話を学ぶ。
- テイク練習会**・・・毎日昼休みに模擬授業を行い、ベテランテイクーさんにテイクのコツを教えてもらう。



手話も覚えて、テイクの技術も向上して、自信がついた！

聴覚障害のある方に対する情報保障

- ・パソコンテイク
- ・文字起こし
- ・手話通訳 など



充実した情報保障を提供するために
充実した事前準備が必要です。

おかげさまで
登録者 125 名

手話通訳の情報保障

方針・・・派遣ではなく、学生に依頼する。

メリット

- ・授業の一週間前から打ち合わせが行える。
- ・毎回同一人物の通訳者なので、前回の授業からの流れを容易に把握することができる。
- ・気楽に馴染むことができる。
- ・普段から話しているため、お互いの手話に慣れている。
- ・専門用語を事前確認し、通訳者と利用学生お互いが理解できるオリジナル手話を作ることができる。
- ・事前のみに限らず、授業後からも授業内容について確認ができる。
- ・オリジナル手話の辞典を作ること、今後の利用学生や通訳者に役立つ。 など



【お問い合わせ先】 東京学芸大学 障がい学生支援室

住所：〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 人文科学研究棟2号館1階
TEL/FAX：042-329-7905 Mail：gsupport@u-gakugei.ac.jp